



Annual Report

2022

musubie

こども食堂の
支援を通じて、
誰も取りこぼさない
社会をつくる。

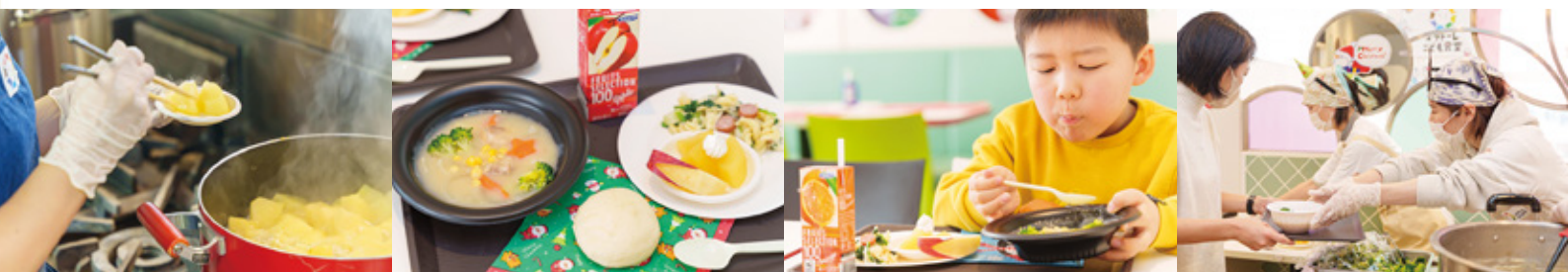


認定NPO法人 全国こども食堂支援センター

むすびえ

2022 年度活動報告書

発行：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ



目次

Contents

3	 01	理事長からの メッセージ
4	 02	コロナ禍や 物価上昇でも広がった こども食堂の活動
6	 03	事業紹介
8	 04	私たちの取り組み
10	 05	企業・団体・個人 からの支援
12	 06	応援してくださっている 皆さま
13	 07	財務報告
14	 08	メンバーからの メッセージ

● ロゴに込めた思い



私たちは、「地域ににぎわいをつくりたい。そして、そこからこぼれる子どもをなくしたい」という思いで、全国こども食堂支援センター・むすびえを設立しました。その思いを少しでも共有してくださる方が、ここで結び会って欲しいという思いを込めて「むすびえ（結び会）」と名付けました。

むすびえのロゴには、「こども食堂」「こども食堂の支援者」「未来の子どもたち」が結ばれ、彩のあるやさしい未来をつくりたいという思いを込めています。

● むすびえとSDGs



SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に国連加盟国193カ国が全会一致で採択した行動計画。貧困や福祉、持続的なまちづくりなど17の目標からなり、2030年までに目標を達成することを目指しています。

むすびえでは、SDGsが掲げる17の目標のうち、6つに貢献します。

理事長からのメッセージ

Message from Makoto Yuasa

いつもこども食堂をご支援いただき、ありがとうございます。2022年度の活動報告書をお届けします。

2022年は、明けるようで明けないコロナ禍に依然として振り回される一年だったとともに、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う物価高騰

にも苦しめられた一年でした。そんな中でも、こども食堂の皆さんは、コロナ禍以降も変わらぬ精力的な活動で存在感を発揮し続け、むすびえも微力ながらそのご尽力を世の中に伝え続けました。

最近、私は「居場所の時代」と表現していますが、コロナ禍3年目でもこども食堂が1,349箇所増と過去2番目の増え方をするのは、時代が求めていると捉えないと説明しようのない現象です。人々はコロナだからこそつながりを求め、人と人がつながる場としての居場所を求めている。その気持ちが、こども食堂という衣をまとって表現されている。形態はこども食堂だが、込められているのは人とつながろうとする気持ち。だからみなさんは、会食が無理なら弁当配布、屋内が無理なら屋外と、柔軟に形態を変化させているのだと思います。

私たちは、こうした人々の営みから、私たちが何を受け取って、何を社会に伝えるべきかを考え続けています。一人ひとりの暮らしから天下国家の政治経済へと話の規模が大きくなればなるほど、こうした営みに表れたつながろうとする気持ちは話の中から脱落していきます。「世の中で大事なことはそこではない」と言わんばかりの用語や概念が話の中心を占めていきます。私たちはそのような用語や概念に対して、大事なことはむしろ「つながろうとする気持ち」なんだと、営みに込められた人々の気持ちや願いを軽視したら世の発展もないんだと訴えていきます。

そのことを皆さんとともに、さらに広く社会に届けたい。その行為こそが私たち自身の未来を切り開くのだと信じています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長

湯浅 誠

社会活動家、東京大学 特任教授





02

musubie
Annual Report 2022

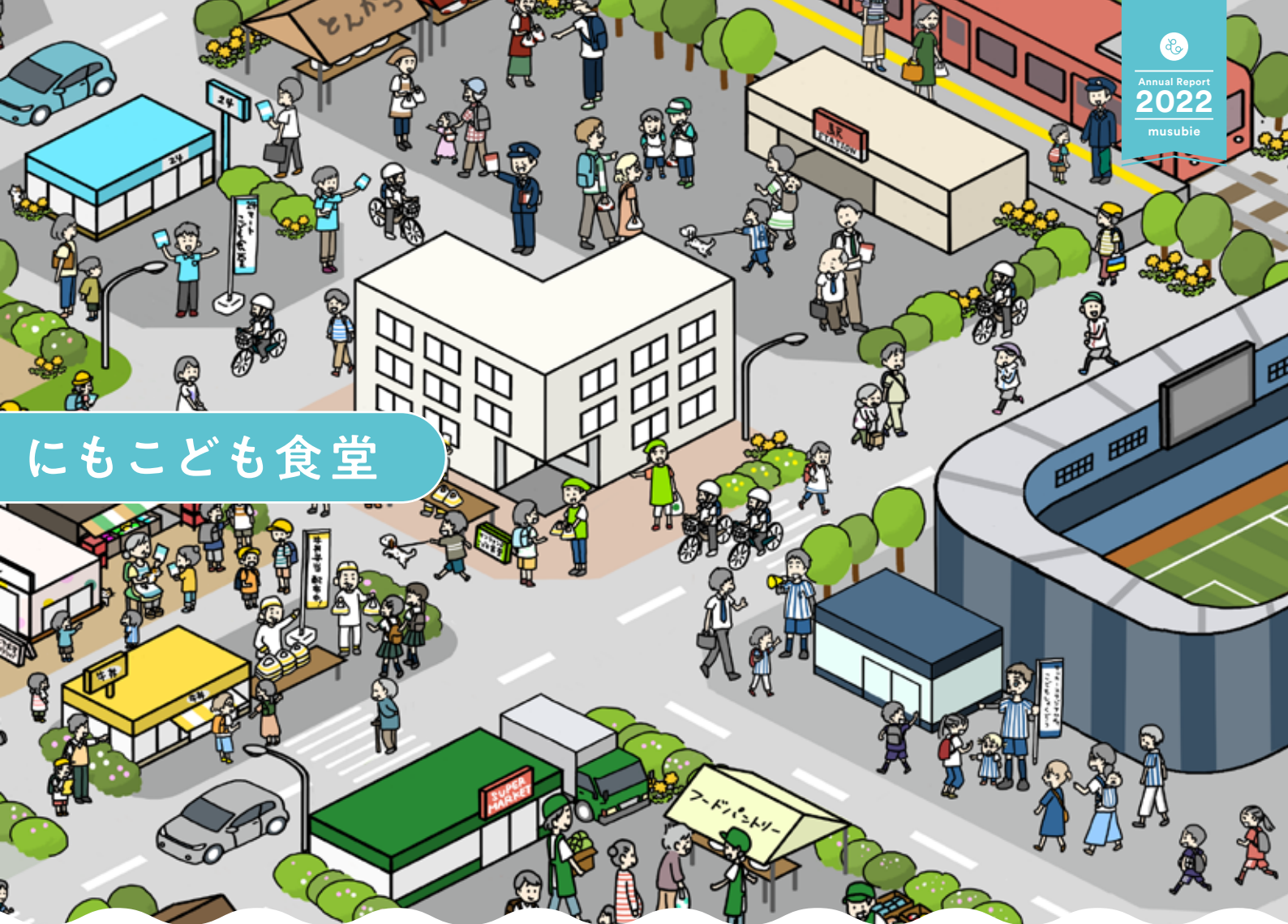
コロナ禍や物価上昇でも広がったこども食堂の活動

Overview

新型コロナウイルス感染症の長きに渡る影響、食材や弁当容器など活動に不可欠な物の値上がりといった困難に見舞われた中でも、決して歩みを止めることなく、全国で広がり続けたこども食堂。2022年度の調査では、こども食堂は全国に少なくとも7,363箇所あることが明らかになり、過去最高値を更新しました※1。その数は、3年に及んだコロナ禍でも毎年1,000箇所以上のペースで増え続けています。

また、こども食堂の皆さんに活動の状況と困りごとを伺ったアンケート調査では、2022年10月から11月時点で、物価上昇による影響は82.7%が感じているものの、開催頻度や料金、食事の内容などを既に変更しているのは6.9%にとどまるとの回答が得られました※2。こども食

にもこども食堂



イラスト・はしもとあや

堂は資金が潤沢にある活動ではありませんから、つまり、物価上昇に悲鳴を上げながらもその影響を参加者に転嫁せず、なんとかやりくりして踏みとどまっている、こども食堂の皆さんの姿が見えました。

「誰かにちゃんと見ていてもらえている、受け止められている」と感じられる一。そんな「居場所」は、すべての人に必要なものです。そして居場所は多ければ多いほど、人々が「救われた」と感じられる機会が多くなると、むすびえは考えています。私たちは、そうした「居場所」を取り戻そうとするこども食堂の皆さんの取り組みと、その活動を支えている地域ネットワーク団体の皆さんを心から尊敬しています。

2023年5月には、新型コロナの感染法上の位置づけが5類に移行しました。今後、こども食堂の活動支援に必要なことは何か。こども食堂や地域ネットワーク団体、ご支援くださる企業や団体、個人支援者の皆さまとともに、しっかりと見定めながら、進んで参ります。

注釈 ※1) むすびえ「2022年度こども食堂全国箇所数発表（2023年2月 確定値。むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ）
<https://musubie.org/news/6264/>

※2) むすびえ「第7回『こども食堂の現状 & 困りごとアンケート』最新調査結果 発表
<https://musubie.org/news/6026/>

事業紹介

Our Projects

すべての子どもが、行きたいときに気軽に行けるように、むすびえは、子どもが歩いていけるところに安心・安全なこども食堂がある、という状態の実現を目指しています。そんな状態の実現を目指し、私たちは、次の3つの事業に取り組んでいます。

① 地域ネットワーク支援事業

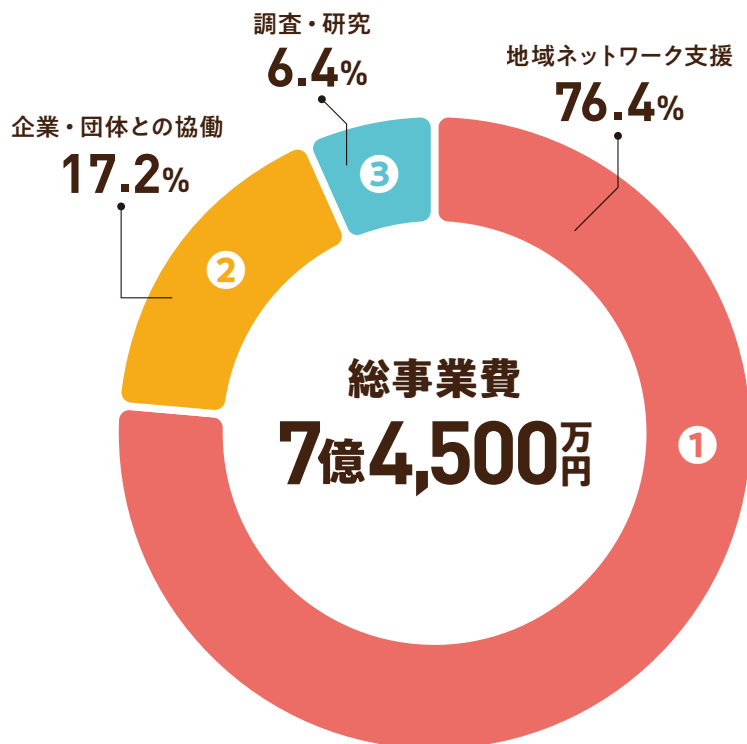
② 企業・団体との協働事業

③ 調査・研究事業

具体的には、どんなことをしているのか、それぞれのプロジェクトを担当するリーダーに聞いてみました。

PJ=プロジェクトの略

事業費の内訳



① 地域ネットワーク支援事業

各地域のこども食堂ネットワーク(中間支援組織)がより活動しやすくなるための後押しを行うこと

全国公開ワークショップPJ



こども食堂で起こった嬉しい変化をシェアするワークショップを2022年度から各地で開催しており、3年かけて47都道府県を回る計画です。語り合いによって、それぞれの地域にある行政、企業などの方々はもっとこども食堂を応援したくなり、運営者の方は明日への元気を受け取る、そんな嬉しい循環が起っています。

休眠預金活用事業



一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が実施する休眠預金事業の資金分配団体として、2022年度は「こども食堂をハブとした地域の循環促進事業」「こども食堂を通じた復興格差是正・防止事業」を始動しました。助成に加えて社会福祉協議会と協働実践研修会を開くなど、様々なステークホルダーとの対話を積み重ねました。

防災／IT学ぼう使おうPJ



IT学ぼう使おうPJ

こども食堂運営者向けに、HPやSNSを使って情報発信する方法を学ぶセミナーを定期的に関き、発信を通じて実際に参加者や支援者が増えたとの報告をいただいています。

防災PJ

こども食堂が災害に備えられるよう、各地で継続して防災セミナーも開いており、防災分野でも地域で必要とされるような存在になるお手伝いをしています。

and more!

② 企業・団体との協働事業

こども食堂を応援してくれる企業・団体とこども食堂をつなぐこと

ファミリーマート資金PJ



ファミリーマートの店頭募金「夢の掛け橋募金」をお預かりし、こども食堂の応援プロジェクトを実施しています。2022年度は、のべ1,395団体のこども食堂に計約3,150万円分の助成を行い、イベント開催や物価上昇対応にご活用頂きました。募金に込められた皆さんの思いが、こども食堂を支える力となっています。

ライオンオーラルケアインクルーシブPJ



2021年度にライオン株式会社と、歯と口と身体に関する健康サポート事業「おくちからだプロジェクト」を始動。22年度までにのべ1,112団体で、子ども達のオーラルケア習慣づくりと自己肯定感を育む体験キットを活用いただきました。ライオン社員のボランティア派遣も喜ばれています。

物資支援仲介PJ



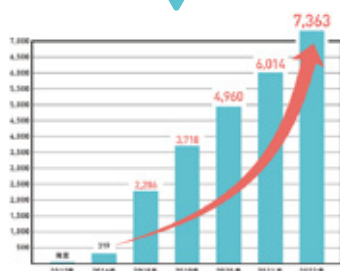
企業・団体等からの支援物資を、こども食堂に届けるための仲介をしています。2022年度は食材にとどまらず、マスクや除菌スプレー、絵本やおもちゃ等さまざまな物資をご提供いただきました。昨今、企業様の工場や支店が地元のこども食堂を応援するといった形が増え、むすびえでも地域内での資源循環を推進していきます。

and more!

③ 調査・研究事業

こども食堂の意義や実態を伝え、理解を広げる調査・研究を行うこと

こども食堂全国箇所数調査PJ



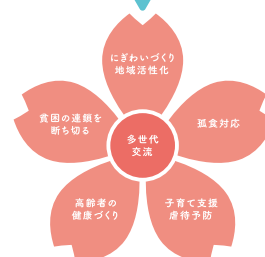
地域ネットワーク団体との共催で、こども食堂の箇所数を調べています。2022年度には7,363箇所が確認され、前年度から1,349箇所増えコロナ禍以降で最も多い増加数となりました。子どもを見守りたい、つながり続けたいという一人一人の行動が数として現れたこの結果は、50を超える報道媒体で取り上げられました。

こども食堂の現状&困りごとアンケートPJ



コロナ禍で日々変化していくこども食堂のニーズを的確に捉えて社会に伝え、対応策を講じることを目的に、こども食堂の声を継続して聞いてきました。2022年度は計2回の調査を行い、コロナや物価上昇といった課題に皆さんが立ち向かい、約半数のこども食堂が会食形式での食堂を開催されていることなどが明らかになりました。

こども食堂の価値調査PJ



2019年度から3年にわたり実施してきた通称「さくらPJ」が完了。「こども食堂が生み出す価値」を可視化し社会に伝え、こども食堂の取り組みをさらに広げることを目指しました。本PJではこども食堂の価値を捉える評価アプローチとして独自のツールキットを開発。また多様な価値や機能だけでなく、「結果としての価値」が生まれる根源であるこども食堂という「居場所そのものの質」への着目が必要という気づきを得ました。

and more!

私たちの取り組み

Activities

2022

★ポケモン・ウィズ・ユー財団より、全国の子ども食堂を対象に「夏休み応援便」として絵日記帳などをプレゼント

★リシャルミルジャパンより、ゴルフのチャリティイベントを通じたご寄付

▲渋谷雅人と三島理恵が新たに理事に就任



★「ケログ 毎日朝ごはんプロジェクト」に参画。子どもたちの朝食欠食・孤食課題への支援を開始

★木徳神糧より、全国の子ども食堂へ合計約360トンのお米のご寄付

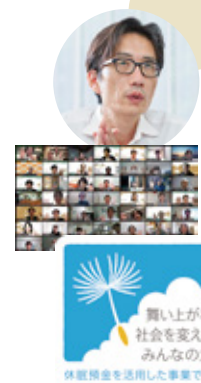
◆第6回「子ども食堂の現状&困りごとアンケート」調査結果を発表。会食形式を再開した食堂が増加するも、70%が物価上昇の影響を実感



★子ども家庭庁設立準備室 子どもの居場所づくりに関する検討委員会の第1回会合開催。湯浅誠が座長に選任

▲オンライン活動報告会を開催。子ども食堂運営者、支援者、関心のある方など約200名が参加

●地域ネットワーク団体とコンソーシアムを組んだ資金分配事業、2021年度休眠預金事業新型コロナウイルス対応支援助成「子ども食堂を通じた復興格差是正・防止事業」採択結果を発表



4月

5月

6月

7月

8月

9月

★「孤独・孤立対策に取り組むNPO等への支援」オンラインセミナーを開催

●子ども食堂運営者・地域ネットワーク団体の有志の方々と「子ども食堂が大事にしていること／これからも大事にしていきたいこと」を発表

- ①. 違いを認めあい.....多様性
- ②. 「やりたいのは自分」の気持ちで.....自発性
- ③. 分け隔てなく誰にでも.....インクルーシブ
- ④. みんなのために.....非営利
- ⑤. 地域をつなげ、笑顔をつなげる.....地域性

●「子ども食堂10周年 #みんなで食べるとおいしいね」事業開始

●「浅草子ども食堂応援まつり」開催

●助成金申請セミナー（入門編）を開催

●「むすびえ・子ども食堂基金」春募集にて計130箇所の子ども食堂等を支援



#みんなで食べると
おいしいね



むすびえ・
子ども食堂基金



MESSAGE

佐賀県においても全国と同様に子ども食堂の数は大幅に増加を続けており、その数はコロナ前の3倍になっています。開催が増えるのは嬉しいですが、限られたリソースで中間支援を続けるのは大変です。そんな環境でも、むすびえさんをハブとした全国各地の多様な中間支援団体の「仲間」の存在が私たちを勇気づけてくれています。これからも互いに知識やノウハウを共有しながら、皆さんとともに課題解決を楽しく続けてまいります！

一般社団法人さが・子ども未来応援
プロジェクト実行委員会
事業部長 高山哲也



栃木県内でも市町単位でネットワークが形になり、開設補助、立ち上げ講座などが各地で行われた1年でした。加えて「子ども食堂は地域の居場所」というイメージが広く伝わり、多くのお父さんお母さんたちも一緒に気軽に子ども食堂を訪れることが出来るようになっていと感じます。むすびえさんの発信力、点と点を繋げるパワー、全国どこへでも駆けつける軽やかさにいつも元気をもらっています！これからも全国の仲間とのつながりを作り続けてください☆

子ども食堂サポートセンター・とちぎ
荻野友香里



▲遺贈寄付ウィーク2022 特別企画 オンラインイベント「こども食堂と、人生の新しい1ページをひらく遺贈寄付」開催



●★食の専門展示会「FOOD展2022」に出展。理事長湯浅がセミナーに登壇。食糧配布やフードドライブなど、こども食堂支援の取り組みを紹介



◆こども食堂全国箇所数調査(速報値)と第7回「こども食堂の現状&困りごとアンケート」調査結果を発表。82.7%のこども食堂が物価上昇の影響を感じると回答



★スターバックス コーヒー ジャパンより「Be a Santa ドネーション」プログラムを通じて、508箇所のこども食堂へお菓子などのホリデーギフトのご寄付

関連する事業一覧

- 地域ネットワーク支援事業
- ★企業・団体との協働事業
- ◆調査・研究事業
- ▲その他

◆クラウドファンディング「コロナ、物価上昇にも負けずに活動するこども食堂の支援を通じて、子どもたちの育ちを支えたい。」367名より約570万円のご寄付が集まる



●こども食堂 地域ネットワーク団体全国交流会をオンライン開催。39都道府県から申し込みがあり、多くの方が参加

●「むすびえ・こども食堂基金」冬募集にて計20のこども食堂の地域ネットワーク団体を支援

★オンライン連続セミナー「居場所作りは地域づくり」～地域と居場所の新しい関係を目指して～開催を発表。2022年度には計3回開催

2023

10月

11月

12月

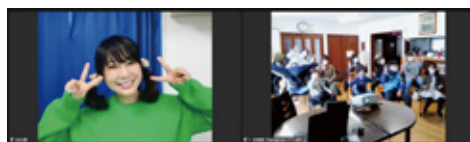
1月

2月

3月

ヤングヘルス
プログラム
@こども食堂

★アストラゼネカとむすびえが協働で取り組む「ヤングヘルスプログラム」で、こども食堂関係者と一緒に新たな食育教材を考える



▲特別企画「コロナに負けるな！こども食堂～はるな愛さんとZoomで話そう～」第2弾を実施。全国20箇所のこども食堂の子どもたちとはるな愛さんが交流

★内閣府・内閣官房・厚生労働省・農林水産省の各省庁関係者、自治体関係者、こども食堂関係者が一同に集った「令和4年度二次補正予算 こども食堂支援策解説セミナー」を開催



●こどもを守る。みんなを守る。
「こども食堂防災マニュアル」リニューアル版をリリース

●オンライン研修会「コロナ5類でどうなる？どうする！こども食堂」開催

MESSAGE

私たちは「こども食堂」を「地域の大人たちが子どもたちを見守り支える仕組みづくり」と位置づけて、自ら運営するとともに、普及啓発に取り組んでいます。お節介なおじさん、おばさんが「子どもたちのために」と始めたこども食堂で、新しい出会いや交流が始まり、みんなが元気になり、あいさつを交わしたり、互いに気遣い合う、温かい地域になっていきます。山口県内のあちこちに「こども食堂」を広めるとともに、むすびえを通じて、全国のこども食堂の仲間たちと一緒に、誰もが住みやすい地域づくりを目指していきます。

NPO法人山口せわやきネットワーク
代表 児玉頼幸



滋賀県内のこども食堂が、みんなのあたたかな居場所として地域の中でひろがり、あり続けるために、むすびえさんからのさまざまなご支援は大きな力になっています。「子どもたちのために」と同じ方向を目指し、日々活動されている全国の中間支援団体やこども食堂のみなさまとのつながりができたことも、とても心強く感じています。これからもみなさまと共に「子どもを真ん中においた地域づくり」を進めていきたいと思っています。

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
地域福祉課 主任 黄瀬 純加



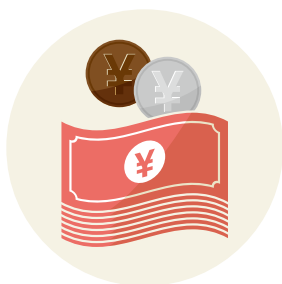
企業・団体・個人からの支援

Accomplishments

企業・団体・個人の皆さまからのご支援により、
数多くのこども食堂への物資、資金支援を行うことができました。

● 資金支援

むすびえ・こども食堂基金、マルエツ・むすびえ基金 mini、休眠預金事業等の助成事業を通じて



のべ
1,302団体に
総額**5億2,400**万円
助成



● 物資支援

食料品に限らず、玩具、文房具、家電製品、住宅設備品、衛生用品など現場ニーズに基づいて、多様な物資を仲介



のべ
11,052団体に対し
物資を仲介
*5億2,500万円相当(売価換算)



物資支援企業の一覧

BIC ジャパン株式会社 / CTW株式会社 / KNT-CTホールディングス株式会社 / 株式会社 LIXIL / SG企画 / TOTO株式会社 / 株式会社 USEN / アイリスオーヤマ株式会社 / 株式会社 朝日新聞社 / アマゾンジャパン合同会社 / 株式会社イトーキ / エヌディーリース・システム株式会社 / 一般財団法人 お好み焼アカデミー / 木徳神糧株式会社 / 協同乳業株式会社 / キリンビバレッジ株式会社 / 株式会社熊谷組 / 株式会社神戸物産 / 一般財団法人国際文教慈善基金会 / 株式会社サトー / 株式会社サンマルクカフェ / ジェコス株式会社 / 株式会社 資生堂 / (認定) 特定非営利活動法人 ジャパンハート / 鈴木出版株式会社 / スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 / 全国農業協同組合連合会 / 全業工業株式会社 / セントラル硝子株式会社 / 大末建設株式会社 / 第二東京弁護士会 / 株式会社 大冷 / 株式会社タカラトミー / 株式会社たらみ / 株式会社 電通 / 富永商事株式会社 / 豊田通商株式会社 / なないろ生命保険株式会社 / 日本園芸農業協同組合連合会 / 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 / 日本自動車ターミナル株式会社 / 株式会社日本農業新聞 / 一般社団法人日本バレエ団連盟 / 株式会社 ノーリツ / ハイセンスジャパン株式会社 / ハウス食品グループ本社株式会社 / パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 / パナソニック エコシステムズ株式会社 / 濱田精麦株式会社 / 東日本電信電話株式会社 / 日比谷松本楼 / 株式会社 プレーリードッグ / 株式会社ほぼ日 / 株式会社 明治 / 森永製菓株式会社 / 森永乳業株式会社 / 本山製茶株式会社 / ユニー株式会社 / ライオン株式会社 / リコージャパン株式会社 / 一般社団法人リビングアメニティ協会 / リンナイ株式会社

and more!

ご寄付・ご支援いただいた企業・団体の皆さま



一般社団法人ウェブベルマーク協会 / 株式会社日本金融通信社 / 三菱ケミカル健康保険組合 / 一般社団法人東京アメリカンクラブ / 共立株式会社 / 株式会社はけんの110番 / 全国生活協同組合連合会 / 大和ハウス工業株式会社 / 豊田通商株式会社 / ロイヤルリゾート株式会社 / 三愛オブリ株式会社 / 株式会社STAR Gaia888 / thatgamecompany Japan 合同会社 / イオンリテール株式会社 / 株式会社Tポイント・ジャパン / 朝日生命保険相互会社 / ヤマリョー株式会社 / アイディール・リーダーズ株式会社 / ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 / エニータムヘルスケアコンサルティング株式会社 / LAMPS 株式会社 / 興洋海運株式会社 / 株式会社加川プロ / ニューヨーク補習授業校W校 / 株式会社KIKO / 株式会社浅井農園 / 株式会社it company / 株式会社プロロジス / エーアイテクノロジ株式会社 / 株式会社セブン・フォース / 合同会社JUKEN7 / ジョルト株式会社 / 旭商船株式会社 / 株式会社モーターレオマツ / 株式会社tokotowa / 有限会社 廣重 / あすか信用組合 / 株式会社シナジーシステム / 株式会社オフィス並木 / 株式会社清浄野菜普及研究所 / 株式会社アイ・エム・コーポレーション / 株式会社ビックスコーポレーション / 豊島株式会社 / MRテクノ株式会社 / 株式会社中小企業の子カラ / 株式会社ファンケル / Rimini Street, Inc. / 株式会社ファンケル / 株式会社インフォマート / 株式会社INPEX / 株式会社青山財産ネットワークス / HodesWeilandAssociates / 北海道バリュースコープ株式会社 / 株式会社千葉ケイテクノ / 株式会社 見上ロジス / HLB Meisei 有限責任監査法人 / 大東京信用組合 / 第一勧業信用組合 / いけばなインターナショナル東京支部 / 株式会社エイトラス / 株式会社三ツ星 / 全国友の会中央部 / gooddo 株式会社 / アステラス製薬株式会社 / 株式会社クラシエホールディングス / 一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会 / j.union 株式会社 / 株式会社うるる / 株式会社インサイド / 株式会社ガスバル / 株式会社lland / 株式会社とやまアイホーム / 共立信用組合 / 株式会社JES / シャボン玉石けん株式会社 / 株式会社サクセス / BIC ジャパン株式会社 / JCOM 株式会社 / 信金中央金庫 / 第一生命保険株式会社首都圏営業本部コンサルティング営業室 / 株式会社鉄軌 / 株式会社レ・パシフィック / 株式会社アマノ / 株式会社協同 / 株式会社政和工業所 / 株式会社麻布C&Iパートナーズ / 株式会社メディカルコスモ / 株式会社アイテム / 株式会社太陽技研ホーム / 株式会社姫路商工 / 辻丸国際特許事務所 / 有限会社ケイ・アンド・エー / 有限会社ひうら社 / 日本テクトホールディングス株式会社 / 富士テクノ株式会社 / 株式会社キリカン洋行 / 有限会社ウエイビー / 株式会社レオン / 株式会社はな / 呉エンジニアリング有限会社 / 株式会社紅梅園 / 株式会社多摩デバイス / 株式会社ドクターズナビゲーター / 株式会社chata / 魔法のタイツ株式会社 / 有限会社プライマルラブ / クリエイトジャパン株式会社 / 株式会社はやし / ロイヤルハウジング販売株式会社 / 医療法人本町たなか歯科医院 / 松岡瓦産業株式会社 / 株式会社グリーンコットンジャパン / ララガンデザイン合同会社 / 株式会社エンジニア・ライティング / 株式会社アウレオ / 有限会社新新園 / 株式会社ドウシシャ / 三越伊勢丹グループ労働組合 / 中ノ郷信用組合 / 全東栄信用組合 / 株式会社CieloAzul / 株式会社ウィルパートナー / 株式会社ワーカビー / 株式会社おいもや / 武庫川女子大学学友会 / 東京地区竹門会 / 中国システック株式会社 / 株式会社朝日機器エンジニアリング / 朝日機器株式会社 / 株式会社サカタのタネ / 株式会社リーガルビジョン / イエズ孝女会 / 通信土木コンサルタント株式会社 / 合同会社Farmmade / PLAYDOT / 門星 / 南福岡土地株式会社 / 株式会社ShinySolutions / 株式会社KARA / 株式会社共創技研 / 株式会社LiHaSu / 有限会社サフラン / 株式会社萬年 / ロイヤルハウジンググループ / 株式会社埼玉研 / 株式会社ITS / トーテックスシステム有限会社 / 有限会社ユニコ興産 / 株式会社ウエアテック / 有限会社紅會館 / 九州旅客鉄道株式会社 / 有限会社メテックエンジニアリング / 大豊建設株式会社 / 京都市立西京高等学校18期生 / 大豊建設株式会社東北支店 / 株式会社アルビノ / 株式会社イーライフコーポレーション / 文化産業信用組合 / 東洋建設株式会社 大阪本店 / 株式会社F-tec / 株式会社プロジェフュー / 合同会社TAKAMIYA design creation office / 株式会社UNISON HYBRID / ダックス株式会社 / 公認会計士 立元顕事務所 / 株式会社 光祥 / 株式会社アド近鉄 / 株式会社CCシステムズ / スズキ株式会社 / 株式会社はちあわせプロダクション / 株式会社チタノタ企画 / 合同会社LSA / 福岡United Children / 特定非営利活動法人結いのこころ / 株式会社クロスウェブ / 龍王山 金剛寺 / アクアエイブル株式会社 / デジタルサンクチュアリ合同会社

and more!

応援してくださっている 皆さま

Voices from Supporters

むすびえの運営は、ご寄付によって支えられています。
また、多岐にわたるプロジェクトには、プロボノや
ボランティアが参画してくださっています。
寄付者やボランティアは「こども食堂の支援を通じて、
誰も取りこぼさない社会をつくる」メンバーです。

Amazon「みんなで応援」プログラ
ムは、日本各地で物資の支援を
必要としている各種団体・施設に
「ほしい物リスト」機能を使って
寄付を贈る事が出来る取り組みで
す。現在ではむすびえの活動を通
じて、多くのこども食堂が登録し
ています。今後とも支援の輪を広
げるべく協力して活動していけれ
ばと願っております。

企業



アマゾンジャパン合同会社
ライフ&レジャー事業本部
片山純平 様

企業



株式会社マルエツ
経営企画本部 経営戦略部 課長
和田真由子 様

未来を担うこどもたちの健やかな
成長と、地域の活性化および持続
可能な発展に向けた取り組みとし
て、2020年より全店に「こども食
堂」応援募金箱を設置し、お客さ
まからお預かりした善意と当社か
らの拠出金をこども食堂の運営や
維持にお役立ていただいています。
これからも、お客さまとともにこ
ども食堂を応援してまいります。

BGMサービスの無償提供による、
こども食堂の環境（通信や空間演出）
改善に取り組まさせていただきました。
弊社は店舗BGMの提供を通じ
て、全国各地のみなさまに支えられ
てきた企業です。そのため地域貢献
への思いは強く、むすびえのビジョ
ンには相通ずる部分があります。今
後も地域コミュニティに貢献し、サ
ステナブルな社会の構築に寄与して
いきたいと考えています。

企業



株式会社USEN
企画開発本部 編集制作部長
菊地 崇夫 様

遺贈寄付をしてくださった方々

「遺贈寄付」は最終実行時には自分の目で確かめることができません。
ですが、むすびえご担当の方から「現場を見てみませんか？」とのお
誘いがあり現地に訪問することができました。その際のご縁で、今
は実際の場に月一回程度のお手伝いが出来て、遺贈寄付前にとても
有意義な経験をさせて頂いております。効力の発生時まであと少し、
マンパワーでご協力ができたらと思っております。

個人 中村まさえ 様（大阪府在住）

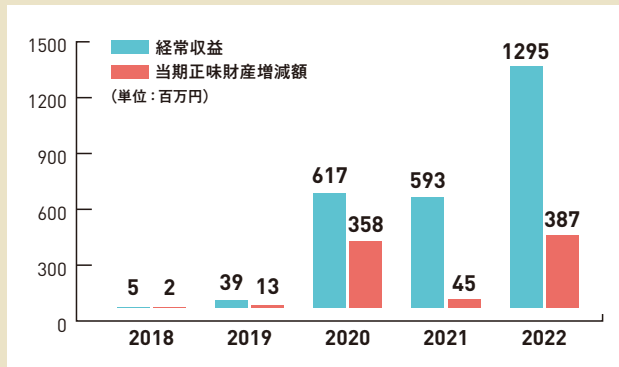
こども食堂は、格差が広がっていくこれからの時代、ますます必要
となります。大変だろうけれど頑張ってください。

個人 ミケ丸 様（東京都在住）

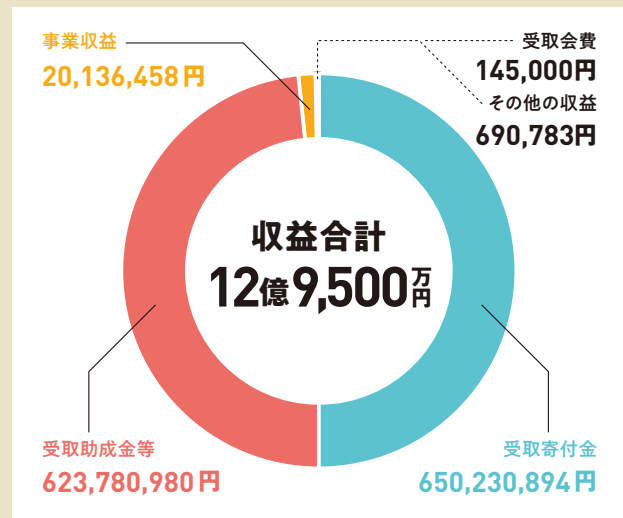


財務報告 *Financial report*

| 収益・正味財産増減額



| 収益の内訳



| 2022年度 活動計算書

(単位は全て円)

科目	金額
A 経常収益	
① 受取会費	145,000
② 受取寄付金	650,230,894
③ 受取助成金等	623,780,980
④ 事業収益	20,136,458
⑤ その他の収益	690,783
経常収益計	1,294,984,115
B 経常費用	
① 事業費	745,187,404
(1) 人件費	58,967,929
(2) その他経費	686,219,475
② 管理費	162,151,625
(1) 人件費	38,813,436
(2) その他経費	123,338,189
経常費用計	907,339,029
当期経常増減額 【A】-【B】=①	387,645,086
C 経常外収益	
経常外収益計	0
D 経常外費用	
雑損失	60,428
経常外費用計	60,428
当期経常外増減額 【C】-【D】=②	-60,428
税引前当期正味財産増減額 ①+②=③	387,584,658
法人税、住民税及び事業税 ④	866,300
前期繰越正味財産額 ⑤	418,517,181
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤	805,235,539

| 役員

理事長	湯浅 誠 (社会活動家／東京大学特任教授)
理事	渋谷 雅人 三島 理恵
監事	稲村 有人 (早稲田リーガルcommons法律事務所 弁護士) 金 洋浩 (デロイト トーマツ税理士法人 税理士)

| 顧問

顧問3名は2023年4月1日就任

清原 慶子 (杏林大学客員教授・こども家庭庁参与)
佐藤 文俊 (地方公共団体金融機構構理事長)
新田 信行 (開智国際大学客員教授)

| 2022年度 貸借対照表

(単位は全て円)

科目	金額
A 資産の部	
① 流動資産	789,569,456
② 固定資産	90,697,800
資産合計	880,267,256
B-1 負債の部	
① 流動負債	75,031,717
② 固定負債	0
負債合計	75,031,717
B-2 正味財産の部	
正味財産合計	805,235,539
B 負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】	880,267,256

・活動計算書と貸借対照表の全文は、当団体のHPで閲覧可能です。
 ・当団体監事の稲村 有人、金 洋浩の両氏からは、監査の結果、理事の業務執行は、法令、定款及び事業計画に基づき執行され、不正の行為または法令・定款に違反する重大な事実はない旨、報告がなされています。

2022年度は、こども食堂の暖簾がかかってから10年という節目の年でした。当団体の経常収益は12億9,500万円で、7億円の増収となりました。収益の50.2%は寄付金、48.2%は助成金等で構成されています。新型コロナ流行や物価高騰の中、多大なご支援を頂いたことに心より感謝申し上げます。

当団体は22年度、「困りごとアンケート」の実施やこども食堂運営者との日々の対話から着想を得た、公開ワークショップ形式の全国ツアーや助成事業を通じた財政面での支援、ITツールや感染症対策等の情報提供、こども食堂全国箇所数調査等を行い、総事業費は7億4,500万円に上りました。また、地域ネットワーク団体、こども食堂に対し、継続的な資金支援ニーズに応えるために、総額3億円の任意積立を行いました。

当団体は、ご支援いただいた皆さまから託された思いを受け、2023年度事業計画でこども食堂1万箇所実現や全国レベル・地域レベルでのこども食堂応援プラットフォームづくりの推進などを掲げ、中長期的にこども食堂支援強化に向けて資金を充当していくほか、当団体のガバナンス・コンプライアンス体制の強化や人材育成にも力を入れていきます。

メンバーからの
メッセージ

from MUSUBIE members

Thank you for your

2022年度も様々なプロジェクトで、多くの方々にご支援・ご協力いただきました。プロジェクトに関わるむすびえメンバーから、感謝を込めたメッセージです。

PJ=プロジェクトの略

やさしい未来をつくりたいという思いに心寄せて応援してくださるみなさんのおかげで、子ども食堂の様々なニーズに応じた活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



理事
渋谷 雅人

shibuya masato

子ども食堂へ温かいご支援をありがとうございます。少しでも多くの団体様に届けられるよう、悩み考え行動してきました。次年度は子ども食堂の活動は一層活発になると思います。安心して継続できるよう、これからも一緒に応援をしてください！



地域ネットワーク支援事業
(防災PJ)、
企業・団体との協働事業
常田 美帆

tsunoda miho

皆さまのご支援によって、子ども食堂がより地域に根差した活動として継続するための一助となる助成金による資金や物資をお届けすることができました。心より感謝申し上げます。



地域ネットワーク支援事業
(休眠2021通常枠PJ)、
企業・団体との協働事業
佐藤 ひまわり

sato hiwari

いつもあたたかいお気持ちをお寄せくださりありがとうございます。こんなにも応援くださる“仲間”がいること、心強く思っています。



事業サポート部門(総務)、
調査・研究事業
六鹿 篤美

mutsuga atsumi

子どもはもとより、地域の多様な方々とつながりを築くための対話研修会開催にも、ご寄付を活用させていただいております。子ども食堂が、誰でも安心して行ける場所となるよう、安全な環境づくりに取り組んでいます。



地域ネットワーク支援事業
(セーフガーディング
普及啓発PJ)
鈴木 桂子

suzuki keiko

全国の子ども食堂運営者さまやネットワーク団体の皆さまが集い、交流や情報交換を行う場づくりにも活用させていただいています。これからも「地域を元気にする人」がパワーを持ち帰れるような繋がりを作ります！



地域ネットワーク支援事業
(全国交流会PJ、
全国公開ワークショップPJ)
宮 由衣

miya yui

いつも温かいご支援をいただきましてありがとうございます。今後も子ども食堂を支えるパートナーとして一緒にできると嬉しいです。このつながりに感謝いたします。



地域ネットワーク支援事業
(感染症対策・活動応援PJ)、
企業・団体との協働事業
山縣 郁子

yamagata ikuko

皆さまの温かいご支援で、子ども食堂運営者の皆さんがITを使ったより広い情報発信ができ、より多くの地域の皆さまの居場所となることができました。今後とも変わらずのご支援を宜しくお願い致します。



地域ネットワーク支援事業
(IT学ぼう使おうPJ)
薬師寺 亨

yakushiji toru

“誰もとりこぼさない社会”の実現はとても難しい、けれどやる。今を生きる人、これからの人のためにも。共感頂ける皆さまの想いを形にし続けます。いつもありがとうございます。



経営企画部門統括責任者
花岡 洋行

hanaoka hiroyuki

support!

ご寄付に添えられたメッセージやむすびえメンバーへの温かいお言葉にいつも励まされています。今後も皆さまからのご支援を最大限活用し、持続的に社会へインパクトを与えられるよう、むすびえの組織の基盤強化も進めていきますので、応援よろしくお願ひします!!



事業サポート部門
(総務・経理)

穴戸 華鼓
shishido hanako

2022年度は延べ600人以上のこども食堂運営者の方に、IT学ぼう使おうのセミナーにご参加頂きました。本当にありがとうございます。これからもITを通じて皆さんのお役に立つ情報をお届けするとともに、一緒にレベルアップしていきましょう!



地域ネットワーク支援事業
(IT学ぼう使おうPJ)

工藤 昌之
kudo masayuki

2022年度も多くの皆さまから温かいご支援を賜り本当にありがとうございました。新たにご支援を頂いた方、何年も継続してご支援頂いている方、様々な皆さまの温かい思いを全国のこども食堂に繋ぐ事が出来ました。その繋がりをこれからも広く強くできればと思っています。



企業・団体との協働事業

脇村 良二
wakimura ryoji

いつもご支援をいただきありがとうございます。こども食堂が至る所にある社会を目指して、今後も活動していきます。引き続きご関心を寄せていただくと嬉しいです。



地域ネットワーク支援事業
(食品衛生環境向上PJ)、
調査・研究事業

山角 直史
yama naofumi

コロナ禍でも、物価上昇でも、工夫をしながら活動を続けてくれたこども食堂の「たくましさ」が、「やさしい未来」につながっていると信じ、活動への参加を呼びかけています。運営者だけでなく、応援してくださる方も含めて、こども食堂に思いを寄せ、広げていこうとする皆さんのお気持ちに、未来への希望を感じています。



理事、
広報・ファンドレイジング
統括責任者

三島 理恵
mishima rie

皆さまからのご支援を源に、今年度も多くの方にこども食堂という居場所の存在と、そこで生まれるゆるやかで温かなつながりを伝える活動ができました。いつもありがとうございます。こども食堂が社会で当たり前にある環境にするためにはまだまだできること・やるべきことがたくさんありますので、今後も努めていきたいと思ひます。



事業サポート部門
(広報・ファンドレイジング)

江副 真文
ezoe mabumi

こども食堂が地域資源の地域内循環のハブになる、その可能性に気づいていただける手ごたえがあります。子どもたち、地域に対して何ができるか、企業・行政・NPOの域を超えてたくさん対話が生まれています。ありがとうございます。



地域ネットワーク支援事業
(休眠2021通常枠PJ)、
企業・団体との協働事業

遠藤 典子
endo noriko

いつもご支援いただき、心より感謝申し上げます。皆さまの温かい声やご支援が、私たちの力になっています。「誰も取りこぼさない社会をつくる」という未来を育む取り組みを、ともに歩んでいければ幸いです。



地域ネットワーク支援事業
(チーム47PJ)、
企業・団体との協働事業

中谷 純
nakatani jun

いつも有難うございます。ご支援がこども食堂の活動継続だけでなく、防災の観点では地域との繋がりの強化になっております。今後も資源や想いが循環する社会を目指していきます。今後とも応援よろしくお願ひします。



地域ネットワーク支援事業
(防災PJ)、
企業・団体との協働事業

森谷 哲
moriya satoshi

...and more!

Vision

こども食堂の支援を通じて、
誰も取りこぼさない社会をつくる。

Mission

こども食堂が全国のどこにでもあり、
みんなが安心して行ける場所となるよう環境を整えます。
こども食堂を通じて、多くの人たちが
未来をつくる社会活動に参加できるようにします。

Action

私たちは、誰もとりこぼされない社会を
日本でつくりたいという思いを持って活動をしています。
各地でこども食堂を支える地域ネットワーク団体を支援すること、
何か社会に貢献したいと考えている企業・団体とつながり
こども食堂へ支援を届けること、
調査・研究をし、啓発をしていくこと。
私たちは、3つの軸で、歩んでまいります。

むすびえを通じて、こども食堂支援の輪にご参加下さい！

● 寄付で参加する

クレジットカード、振込、古本、Tポイント、遺贈によるご寄付など多様な方法があります

● むすびえメンバーとして活動する

これまでの経験を活かして、一緒に未来をつくる社会活動に参加しませんか

／ 詳細はHPへ！ ／



認定NPO法人 全国こども食堂支援センター

むすびえ

認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクススクエア新宿16F

TEL 03-6775-7490

E-mail kodomo@musubie.org

Webサイト <https://musubie.org/>

むすびえ

検索

こども食堂、むすびえに
関する情報を
ほぼ毎日更新中！

